

〔第一号議案〕

一 平成 27 年度事業方針について 一

私たちを取り巻く環境は厳しいものがあるが、2014 年師走の衆議院総選挙も終わり、政局の安定を期待したい。

東日本大震災から 4 年が過ぎたが、南三陸、石巻などの沿岸地区では、復興が遅れている。その中で、懸命に努力されている会員の皆様に敬意を表したい。今後も宮城県臨床検査技師会は日本臨床衛生検査技師会・北日本支部、東北臨床検査技師会とも連携し復興支援活動を継続する所存である。

平成 27 年度事業として、宮城県医学検査学会を平成 27 年 6 月 13 日（土）大崎市生涯学習センター「パレット大崎」において大柳監事を学会長として開催する予定である。また、従来から行ってきた学術部研修会、部門別研修会、精度管理事業、会誌の発行などを継続し、日臨技が全国的に展開している検査説明・相談のできる技師育成のための研修会を開催する。また法改正による診療の補助としての検体採取が認められ、そのための研修が義務化になったので、講習会も開催し、チーム医療推進を目指した職域拡大に積極的に取り組みたい。

公益事業としては、昨年は、はじめて石巻市遊学館での「検査健康展」を開催し盛況を博した。日臨技からの指定事業として今年度も開催する。従来から行ってきた HIV 支援事業として県内保健所における HIV 迅速検査会への協力、県内自治体や関連団体主催の健康イベント等への共催を継続的に行っていきたい。

当会は日本臨床衛生検査技師会・北日本支部や東北地区臨床検査技師会そして宮城県医療整備課、県内の医療関連団体との緊密な連携のもと、会員や臨床検査に対する学術および職能団体としての役割はもとより地域医療や県民の健康維持・公衆衛生活動等への貢献を実施していきたい。

そのためには、会員相互の交流を深め、更なる協力・支援をお願いしたい。

一 平成 27 年度事業計画案について一

【総務部門】

1. 総務・法規・組織

- 1) 会務の執行体制としては、基本的に現在の 7 部門（学術部、精度管理部、広報部、総務部、会計部、公益事業推進部、事務局）で行う。
- 2) 一般社団法人宮城県臨床検査技師会としての公益目的実施事業の遂行と更なる規定の見直しに取り組みたい。

【表彰委員会】

1. 各種表彰

- 1) 青木賞

第 46 回みやぎ医学検査学会において発表された業績に対し、表彰規程により選考し平成 27 年度定時総会にて表彰したい。

2) その他

日臨技を含む各種団体からの推薦依頼に対しそれぞれの推薦要領に従い推薦に努めたい。

【事務局】

1. 事務局運営について

- 1) 日臨技・宮臨技・各関係団体からの情報・案内等を、文書での定期発送のみならず、HP やメール等を活用し、会員への周知を迅速に行いたい。
- 2) 学術部門と連携を図り、会員にとって有益な研修会等を企画開催し、宮臨技会員の学術レベルのさらなる向上を計りたい。
- 3) 公益事業部と連携を図り、日臨技主催「検査と健康展」を企画開催し、臨床検査技師の知名度向上や定期健康診断の必要性の啓蒙を計りたい。
- 4) 宮城県臨床検査協議会、災害メーリングリスト等、震災復興における宮臨技の取り組みとして、各施設・各団体との連携を図り、災害時の検査技師の役割等について協議し、情報共有を計りたい。

2. 生涯教育研修事業

臨床検査技師としては自己研鑽をしていかないと医療についていけない。日臨技では認定センターにおいて認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度や認定心電検査技師日臨技認定や認定病理検査技師などの各種認定事業を勧めている。これらの認定試験では、受験資格として日臨技生涯教育研修制度を修了していることが必須となっている。そのため、多くの研修会に参加している会員の為にも宮臨技研修会はもとより、他団体主催の各種研修会に参加した際の自己申告にも適時対応していき、宮臨技のレベルアップに貢献していきたい。

3. 平成 27 年度の各種会議開催

1) 総会

平成 27 年度 定時総会 1 回

平成 27 年度 臨時総会 必要に応じて

2) 理事会

年 6 回開催予定（原則として隔月）

3) その他 三役会議

年 1、2 回予定（必要に応じて）

【学術部門】（公益目的支出計画事業）

1. みやぎ医学検査学会

第 47 回みやぎ医学検査学会は大柳政一会員（大崎市民病院）を学会長とし、平成 27 年

6月13日(土)パレット大崎にて開催。企画、準備、運営への協力。

2. 日本臨床衛生検査技師会北日本支部血液部門研修会の開催

日臨技北日本支部血液研修会は宮城県臨床検査技師会が担当県となり、仙台市で開催予定。その企画、準備、運営を行う。

3. 研修会・講習会等

- 1) 昨年度同様、会員のニーズに対応するテーマを選び、研修会、講習会の企画、準備、運営を行う。
- 2) 仙台市以外の、県南地区、栗原・大崎地区、登米・石巻地区での研修会を開催する。気仙沼地区は岩手県臨床検査技師会と連携し開催する。
- 3) 基礎課程研修会を2回、専門課程研修会各部門2回を目標に開催したい。
- 4) 部門単独の研修会のみならず、複数部門の連携による合同研修会の開催。
- 5) 実習形式の研修会の開催を実施したい。
- 6) 第2回検査説明・相談ができる技師育成のための研修会を開催予定。

4. 学術部門（検査研究部門体制）について

平成27年度も26年度と同様に会員に有益な学術的情報を発信するために、部門内活動の充実と関連部門との連携をより一層強化したい。

- 1) 研修会予定、報告のホームページへの迅速な掲載をおこない情報を会員へ発信していく。
- 2) 精度管理事業への支援体制の推進。
- 3) 公益事業部との連携による、ボランティア活動への協力。

【精度管理部門】（公益目的支出計画事業）

1. 精度管理委員会

平成24年度から宮臨技精度管理調査は「日臨技精度管理事業データ標準化システム JAMTQC」の運用を開始した。四年目となる平成27年度もこのWebシステムを使用継続して精度管理調査を実施したい。

- 1) 実施項目は昨年同様、日臨技精度保証施設認証制度対象項目を全て満たしたい。
- 2) 実施日程は下記のように行なうこととしたい。

7月：案内郵送後に、Web参加申し込み開始

10月：試料および要綱（設問）発送

11月：模範解答のホームページ公開、施設別報告書（Web）の解禁

12月：宮城県管轄登録衛生検査所に対する最終報告書を宮城県に送付

2月：全体報告書の発行、送付

3月：精度管理調査報告会（又は精度管理研修会）の開催

2. データ標準化委員会

「日臨技精度管理事業データ標準化システム JAMTQC」の運用を開始した。このシステム

を使用した解析方法、評価方法の宮城県の適合性について常に再検討を行ないながら運用したい。設問の難易度についても、学術部と常に検討したい。精度保証に対する会員認識を高め、施設認証を受けるメリットについても再考してもらい、新規申請する施設を増やしていきたい。

3. 精度保証施設認証

平成 23 年度から宮臨技精度管理調査の項目数は、精度保証施設認証制度の基準を満たしたので、「一般施設認証」を行うことが可能となった。

自施設の精度保証、データの信頼性の裏付けともなるので、さらに多くの施設に認証申請を PR したい。

昨年度から日臨技に直接申請することとなった。詳しくはホームページを参照願いたい。

【公益事業部門】

1. 関連団体支援事業

宮城県および仙台市における HIV 支援事業や、ピンクリボン運動等に積極的に参画し、臨床検査の必要性を唱え、さらには臨床検査技師の知名度を向上させていきたい。

2. 技師会主催事業

平成 27 年度も日臨技主催“検査と健康展”を開催し、臨床検査の紹介と地域のみなさまの健康維持に努めていきたい。その際、多くの一般の方々が参加出来るよう、宮臨技だけでなく、他関連団体のご協力を得ることも視野に入れていきたい。

【広報部門】

1. 会誌発行事業

「ニュースみやぎ」では、総会、理事会、技師会活動等の情報提供を目的とし、年 2 回の定期的な発行を行ないたい。「宮城県臨床検査技師会誌」(学術誌)では学術部と協力して年 1 回の発行を目指していきたい。

2. ホームページ維持・更新

更新作業は業者に委託することにより迅速に行い、ホームページの内容を充実させることで会員への情報提供を行っていきたい。

【会計部門】

1. 会員管理

未登録の方や企業への呼びかけを行い、正会員および賛助会員の増加を図りたい。

2. 会計処理

平成 27 年度実施予定業務の内容

会費収入と事業支出のバランスの適正化を図り、長期的に安定した法人経営になるよう会計として努力していきたい。